

# こども映画館

— みんなで一緒に、スクリーンで映画を観よう！！ —

国立映画アーカイブ（旧 東京国立近代美術館フィルムセンター）は、2018年4月1日に独立行政法人国立美術館の6館目として設置された、日本で唯一の国立の映画専門機関です。映画文化の振興をはかる拠点として、映画の保存・研究・公開、映画に関するさまざまな教育普及、映画を通じた国際連携・協力に取り組んでいます。

国立映画アーカイブの教育普及企画である「こども映画館」は、フィルムセンター時代より毎年恒例の企画として好評を博し、今年17回目を迎えます。昨年度より、京都国立近代美術館と共催の「こども映画館@MoMAK」や、コミュニティシネマセンターと共催の「Fシネマ・プロジェクト こども映画館 スクリーンで見る日本アニメーション！」などを館外でも開催し、スクリーンで映画を楽しむ機会、映画について学ぶ機会を、より多くのこどもたちに提供する試みをはじめました。本年度はさらに本格的に、全国のこどもたちに映画を届けます。テレビ等の家庭内視聴では得られない映画鑑賞体験を得られる「こども映画館」を、ぜひともご周知いただきますようお願い申し上げます。

「こども映画館」ウェブサイト：[www.nfaj.go.jp/learn/kids/](http://www.nfaj.go.jp/learn/kids/)

[国立映画アーカイブ]

## こども映画館 2018年の夏休み★

「こども映画館」は、こどもたちの豊かな情操と高い映像理解能力（リテラシー）を育むことを目的とした、中学生以下を対象とした解説付き上映会です。映画館に集まり、みんなが暗闇の中で集中して大きなスクリーンを見つめ、泣き、笑い、緊張し、興奮し、感動する。かつてはごく当たり前であった、こうした映画の原風景の素晴らしさを今日のこどもたちにも味わってみたいと思います。研究員による解説がつくことで、さらに映画への理解を深め、より楽しめる内容となっています。

### ■開催概要

企画名：こども映画館 2018年の夏休み★

会場：国立映画アーカイブ 小ホール（地下1階）

日時：2018年7月27日（金）・28日（土）、8月3日（金）・4日（土） 各日 13:30 開始

会場：国立映画アーカイブ 小ホール（地下1階）

定員：150名（事前申込制・定員制・全席自由席）

7月5日（木）10時より受付開始。定員に達し次第締切。

申込方法等の詳細はウェブサイトをご覧ください。

料金（当日お支払い）：中学生以下 無料／一般 520円／高校・大学生・シニア 310円

掲載用のお問い合わせ先：ハローダイヤル 03-5777-8600

本企画ウェブサイト：[www.nfaj.go.jp/exhibition/kids-cinema2018/](http://www.nfaj.go.jp/exhibition/kids-cinema2018/)



本企画に関するお問い合わせ先：国立映画アーカイブ こども映画館担当（担当：碓井、富田、小林）  
電話：03-3561-0823 E-mail：pr@nfaj.go.jp

## KIDS★CINEMA

### ■プログラム \*各回、研究員による解説付き\*

#### 7月27日(金) 空想の世界

特撮映画で空想の世界を体験! 60年ほど前に想像された宇宙へ旅してみよう。

**上映作品** 『宇宙大戦争』(1959年/日本/監督・本多猪四郎/90分)

#### 7月28日(土) 生きものこどもたち

映画で夏休みの自由研究。珍しい鳥の生活を、70年前のこどもたちと一緒に観察してみよう。

**上映作品**

『ちどり』(1949年/日本/監督・下村兼史/32分) 『こんこん鳥物語』(1949年/日本/監督・下村兼史/29分)

#### 8月3日(金) 弁士と生演奏で楽しむファンタジー ●活弁・生演奏付き上映

お父さんもお母さんも、みんなが知っている素敵なお話“ピーター・パン”。94年前につくられた白黒無声映画が、活弁と音楽で、あざやかによみがえるよ!

**上映作品** 『ピーター・パン』(1924年/アメリカ/監督・ハーバート・ブレンソン/101分)

#### 8月4日(土) 弁士と生演奏で楽しむアニメーション ●活弁・生演奏付き上映

現在残っている日本最古のアニメーション作品や、かわいい動物やおぼけがでてくる作品など、活弁と演奏付きでアニメーションを楽しみながら“フィルム”について考えてみよう。

**上映作品**

『漫画 かへるの横綱』[玩具フィルム](製作年不明/日本/監督不明/1分) [活弁と演奏はつきません]

『なまくら刀』[新最長版](1917年/日本/監督:幸内純一/5分)

『カンガルーの誕生日』[無声版](1940年/日本/監督:熊川正雄/9分)

『三匹の小熊さん』(1931年/日本/監督:岩崎旭/12分)

『おとき噺 おんぶおぼけ』(1955年/日本/監督:横山隆一/23分)

[京都国立近代美術館]

## こども映画館@MoMAK

この夏休みは美術館で昔の映画を観てみよう! 大迫力のアクションを活弁や音楽とともに楽しんだり、アニメの映画のしぐみを学んだり、いつもとは違うかたちで映画に親しむ上映会です。京都国立近代美術館と共催で開催します。

### ■開催概要

**企画名:** こども映画館@MoMAK

**会場:** 京都国立近代美術館 1階講堂

**主催:** 京都国立近代美術館、国立映画アーカイブ

**特別協賛:** 木下グループ

**日時:** 2018年8月10日(金)・11日(土) 各日 16:00開始 [15:00開場]

**定員:** 先着 100席

**料金(当日券のみ):** 1プログラム 520円 ※中学生以下 無料、心身に障がいのある方と付添者1名は無料(要証明)

本企画に関するお問い合わせ: 京都国立近代美術館 075-761-4111 (代)

### ■プログラム

#### 8月10日(金)

**上映作品** 『キートンの大列車追跡』(1926年/アメリカ/監督:バスター・キートン/90分) ●活弁・生演奏付き上映

#### 8月11日(土)

**上映作品** 『長靴をはいた猫』(1969年/日本/監督:矢吹公郎/80分) ●研究員による上映前解説あり

## KIDS★CINEMA

[全国巡回上映]

### Fシネマ・プロジェクト こども映画館 スクリーンで見る日本アニメーション！

映画をみて、日本のアニメーション映画の歴史や、様々なアニメーションの技法に触れ、アニメーション史を彩るつくり手たちを知ることができる、「Fシネマ・プロジェクト こども映画館 スクリーンで見る日本アニメーション！」をコミュニティシネマセンターと共催で全国に巡回します。巡回作品は、貴重な初期アニメーションやアニメーションのさまざまな技法をみることができる短篇プログラム、中長篇アニメーションの新日の傑作など、こどもたちにも、大人にも楽しんでもらえるプログラムです。

#### ■開催概要

**企画名：**Fシネマ・プロジェクト こども映画館 スクリーンで見る日本アニメーション！

**主催：**一般社団法人コミュニティシネマセンター、国立映画アーカイブ

**特別協賛：**木下グループ

**本企画に関するお問合せ：**コミュニティシネマセンター 050-3535-1573

#### ■会場（予定）

- ・ 神奈川県鎌倉市（7・8月）  
主催・会場：鎌倉市川喜多映画記念館
- ・ 宮城県仙台市（9月）  
主催：仙台短篇映画祭実行委員会 会場：せんだいメディアアーク
- ・ 長野県松本市（11月）  
主催：NPO 法人松本 CINEMA セレクト/松本市美術館  
会場：松本市美術館
- ・ 北海道札幌市（11月）

#### ■巡回プログラム（一部）

- （1）「NFAJ 短篇集：いろいろな動物の映画」  
『体育デー』（1932年／監督：村田安司） 『こねこのらくがき』（1957年／監督：薮下泰次）  
『もりのおんがたい』（1960年／監督：神保まつえ） 『人魚』（1964年／監督：手塚治虫）
- （2）「NFAJ 短篇集：歌とリズム」  
『村祭』[デジタル復元版]（1930年／監督：大藤信郎）  
『茶目子の一曰』[デジタル復元版]（1931年／監督：西倉喜代治）  
『RHYTHM』（1935年／監督：荻野茂二）  
『くもとちゅうりつぷ』[デジタル復元版]（1943年／監督：政岡憲三）  
『ホーム・マイホーム』（1970年／監督：岡本忠成）
- （3）「NFAJ 短篇集：さまざまな手法」  
『なまくら刀』[デジタル復元・最長版]（1917年／監督：幸内純一）  
『煙り草物語』[不完全版]（1926年／監督：大藤信郎）  
『漫画 二つの世界』（1929年／監督：村田安司） 『PROPAGATE(開花)』（1935年／監督：荻野茂二）
- （4）『長靴をはいた猫』（1969年／監督：矢吹公郎）
- （5）『白蛇伝』（1958年／監督：薮下泰司/）
- （6）『太陽の王子 ホルスの大冒険』（1968年／監督：高畑勲）

#### 【本リリースに関するお問い合わせ】

国立映画アーカイブ 教育・事業展開室 担当：碓井、富田、小林  
電話：03-3561-0823 FAX：03-3561-0830 E-mail：pr@nfaj.go.jp